

皆さんが納めた税金や、国・県からの支出金、地方交付税は、どのように使われたのでしょうか？
昨年度の南国市の収入と支出についてお知らせします。

■問い合わせ／財政課財政係 ☎088-880-6552

歳出 275億1,351万1千円

前年度比9.9%の減額

歳出総額は、275億1,351万1千円で、前年度決算額に比べて30億3,860万5千円(9.9%)の減額となっています。

<性質別歳出の状況>

○義務的経費

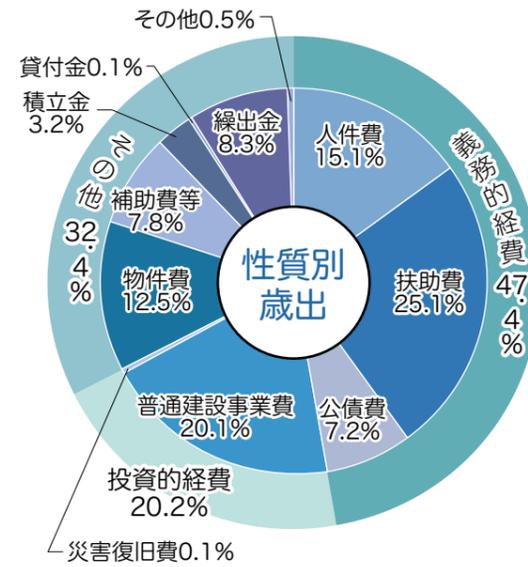
- ・人件費は、2億9,575万8千円(7.7%)の増額となりました。
- ・扶助費は、臨時特別給付金給付事業費などの増により、10億3,804万8千円(17.7%)の増額となりました。
- ・公債費は、2,844万円(1.4%)の減額となりました。

○投資的経費

- ・都市再生整備事業費などの減により、3億4,840万3千円(5.9%)の減額となりました。

○その他

- ・物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの増により、4億4,216万6千円(14.8%)の増額となりました。
- ・補助費等は、特別定額給付金給付事業費などの減により、48億2,347万9千円(69.2%)の減額となりました。
- ・繰出金は、3,335万1千円(1.5%)の増額となりました。
- ・積立金は、3億8,143万2千円(75.4%)の増額となりました。



性質別歳出の内訳

義務的経費	130億2,790万7千円
人件費	41億4,470万7千円
扶助費	68億9,911万0千円
公債費	19億8,409万0千円
投資的経費	55億6,044万3千円
普通建設事業費	55億4,596万9千円
災害復旧事業費	1,447万4千円
その他	89億2,516万1千円
物件費	34億2,701万5千円
補助費等	21億4,303万6千円
積立金	8億8,730万8千円
貸付金	1,848万0千円
繰出金	22億9,464万2千円
その他	1億5,468万0千円
計	275億1,351万1千円

目的別歳出の内訳(275億1,351万1千円)

112億1,141万1千円(40.7%)	民生費(保育所の運営、医療費無償化、公的保険制度、生活保護などにかかる費用)
44億2,200万7千円(16.1%)	土木費(道路・公園の整備や、市街地の開発などにかかる費用)
29億6,749万1千円(10.8%)	総務費(住民票・戸籍管理、市税の課税・徴収、選挙、市庁舎の維持管理などにかかる費用)
19億8,409万0千円(7.2%)	公債費(道路や小中学校の建設などで借り入れた借金の返済にかかる費用)
19億1,790万8千円(7.0%)	教育費(小中学校の運営・環境整備や、図書館・公民館の運営などにかかる費用)
18億7,443万1千円(6.8%)	衛生費(ごみの収集・処分や、予防接種・健康診断などにかかる費用)
13億1,958万5千円(4.8%)	農林水産業費(農道・水路の改良・修繕や、農林水産業の振興にかかる費用)
11億7,111万9千円(4.3%)	消防費(消防署の消火・救急活動や、防災・災害対策にかかる費用)
4億951万1千円(1.5%)	商工費(商工業の振興にかかる費用)
2億186万9千円(0.7%)	議会費(議員報酬や、議会運営にかかる費用)
1,961万5千円(0.1%)	労働費(雇用の確保や労働金庫などへの制度融資にかかる費用)
1,447万4千円(0.1%)	災害復旧費(災害の復旧にかかる費用)

総括 10億1,844万4千円の黒字 借金である地方債借入残高は増加

南国市の令和3年度普通会計の決算状況は、歳入が287億4,940万6千円、歳出が275億1,351万1千円で、歳入歳出差引額は12億3,589万5千円となりました。翌年度への繰り越し財源2億1,745万1千円を除くと10億1,844万4千円の黒字となります。

また、歳入の根幹をなす市税総額は8,609万2千円の減額、地方交付税は5億7,105万9千円の増額となり、臨時財政対策債は2億1,044万8千円の増額となりました。地方債借入残高は、令和3年度末残高237億3,644万5千円、18億6,305万5千円の増額となっています。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は82.1%と前年より5.1ポイント減少しました。

今後も、公債費負担適正化計画などにより、健全な財政運営に努めます。

用語解説

普通会計とは？

一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・土地取得事業特別会計の合計額から、繰り入れや繰り出しなど、会計間の重複額を控除した統計上の会計区分です。

経常収支比率とは？

地方税や普通交付税などの経常一般財源収入のうち、人件費や扶助費、公債費など毎年度定期的に支出される経費にどれだけ充当されたかを示すもの。比率が高いほど、財政構造の硬直化が進んでいることを表します。

歳入 287億4,940万6千円

前年度比8.2%の減額

○歳入総額は、287億4,940万6千円で、前年度決算額に比べて25億8,245万1千円(8.2%)の減額となりました。

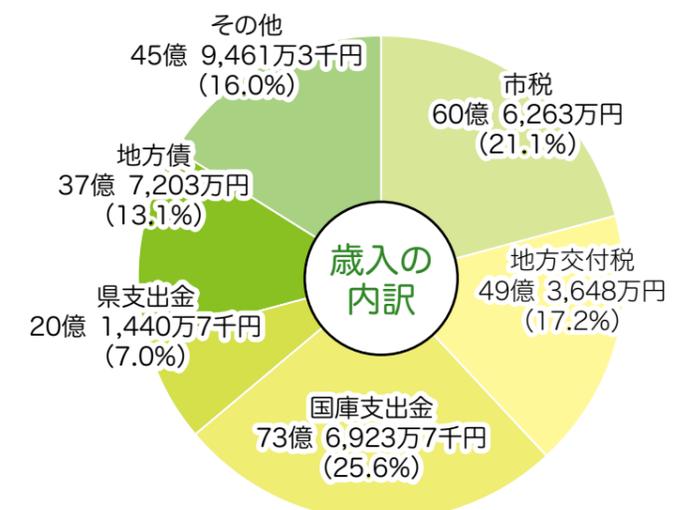
○市税は、市たばこ税2,344万8千円、軽自動車税493万1千円の増額となり、固定資産税5,769万9千円、市民税5,680万2千円の減額となり、税收全体では8,609万2千円(1.4%)の減額となりました。

○地方交付税は、5億7,105万9千円(13.1%)の増額となりました。

○国庫支出金は、特別定額給付金給付事業費補助金などの減により、34億7,149万6千円(32.0%)の減額となりました。

○県支出金は、認定こども園施設整備費補助金などの減により、1億7,849万7千円(8.1%)の減額となりました。

○地方債は、街路事業高知南国線整備事業費などの減により、1億9,151万6千円(4.8%)の減額となりました。



市民の税負担は？

1人当たりが納めた市税
130,852円
(131,611円)

固定資産税	63,513円(64,222円)
市民税	54,803円(55,565円)
たばこ税	7,987円(7,419円)
軽自動車税	4,505円(4,362円)
その他	44円(43円)

※令和4年3月31日現在の人口46,332人で計算したものです。
()内は前年度の金額です。